

学習指導要領		都立砂川高校 学カスタンダード
<p>(1) 私たちの時代と歴史</p> <p>現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付かせる。</p> <p>開国前後から第二次世界大戦終結までの政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、相互の関連を重視して考察させる。</p>		<p>われわれの身近にある社会的事象や現代の諸課題などを追求し、近現代における歴史的事象が現在と関連性をもつことに気付かせる。それにより、自らも歴史の当事者であることを理解することができる。</p>
<p>(2) 近代の日本と世界</p> <p>ア 近代国家の形成と国際関係の推移</p> <p>(ア) 近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出、文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や文化の変容、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察させる。</p> <p>(イ) 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に注目して、国際環境や政党政治の推移について考察させる。</p> <p>イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢</p> <p>(ア) 産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及、大衆社会と大衆文化の形成に着目して、近代産業の発展と国民生活の変化について考察させる。</p>		<p>[近世社会の動揺と近代への胎動]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農村や都市の変化などに着目し、幕藩体制の動揺に関して原因を探るとともに、幕府や諸藩が実施した諸改革について理解することができる。</li> </ul> <p>[開国と明治維新]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米諸国の近代化とそれらのアジア・日本への接近を関連付けて考察することができる。</li> <li>・開国から江戸幕府の滅亡、明治維新といった一連の流れを把握することができる。</li> </ul> <p>[立憲国家の成立1]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民撰議院設立の建白書に始まる自由民権運動の高揚、その後の政府による立憲制の確立、議会政治の展開について理解することができる。</li> </ul> <p>[立憲国家の成立2]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日清・日露両戦争、不平等条約改正といった課題を経て、やがて列強に仲間入りする過程について考察することができる。</li> </ul> <p>[立憲国家の成立3]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資本主義経済確立にもとづく日本社会の変容について把握することができる。</li> </ul>

学習指導要領	都立砂川高校 学カスタンダード
<p>(イ) 諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目して、二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察させる。</p> <p>ウ 近代の追究 近代における政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向が相互に深くかかわっているという観点から、産業と生活、国際情勢と国民、地域社会の変化などについて、具体的な歴史的事象と関連させた適切な主題を設定して追究し表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を育てる。 第二次世界大戦後の政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、現代の諸課題と近現代の歴史との関連を重視して考察させる。</p>	<p>[第一次世界大戦と日本]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第一次世界大戦前後の国際情勢に関して理解することができる。</li> <li>第一次世界大戦に関する日本経済の様子や、大衆社会成立にもとづく社会運動の高揚などについて考察することができる。</li> </ul> <p>[昭和の恐慌と満州事変]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昭和の恐慌から政党政治のゆきづまり、軍部の台頭といった流れについて整理することができる。</li> </ul> <p>[第二次世界大戦と日本]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>軍部の影響力が増大する中での日中戦争開始から太平洋戦争終結に至る流れをおさえることができる。</li> <li>戦争中における重化学工業化と統制経済、その後の国民生活の崩壊について理解することができる。</li> </ul>
<p>(3) ア 現代日本の政治と国際社会 現代の日本と世界 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p> <p>イ 経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p>	<p>[占領下の日本]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>戦後の国際情勢と関連付けつつ、おもに占領政策の内容について理解することができる。</li> <li>東アジア情勢から日本の独立、その後の日本と諸外国との関係について考察することができる。</li> </ul> <p>[経済繁栄と保守長期政権]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高度経済成長に関して、国内の技術革新と国際化していく日本経済に留意して理解することができる。</li> <li>55年体制から保守政権の誕生までの過程を、対外情勢などと関連付けながら考察することができる。</li> </ul>

学習指導要領	都立砂川高校 学カスタンダード
<p>ウ 現代からの探究</p> <p>現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その解決に向けた考えを表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身につけさせる。</p>	<p>[現代の世界と日本]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長引く経済不況、少子高齢化などの諸課題をかかえる日本において行為者たるを自覚し、いかにこれらに関わっていくか考えることができる。</li> </ul>